

## 布施川に施工された掛樋の復元模型

製作 五郎兵衛記念館 山浦修一さん

### 横から見た掛樋

長さ:5間(約12.6m)  
深さ:3尺2寸(約99cm)  
横幅:3尺3寸(約99cm)



### 正面から見た掛樋(断面)



※ 河川法で規定する一級河川布施川を一気に渡りきるため、五郎兵衛は水道橋を布施川に架橋しています。常時大量の用水を流すため、橋には巨大な荷重がかかります。その重みを受けるため橋脚を増やすと、布施川本流の流下に悪い影響を及ぼすため、巨木の一木を用いて橋自体に強度を持たせました。

しかし時代が移るに従い適当な巨木が手に入らなくなり、底板の下に丸木柱を二本置き、水漏れしないよう木製風呂桶と同じ水密構造で施工しまし